

経営比較分析表（平成28年度決算）

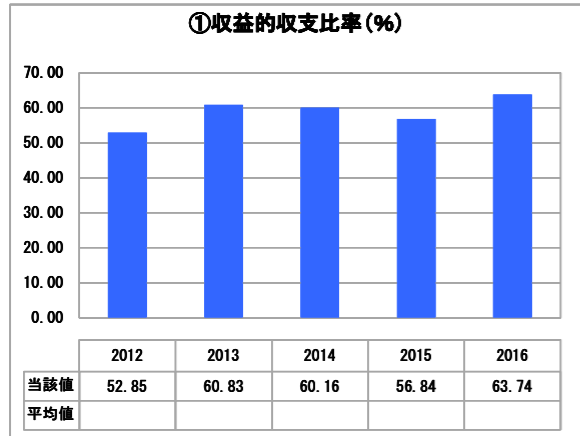
静岡県 袋井市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.30	103.93	1,982

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
87,603	108.33	808.67
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
263	0.08	3,287.50

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



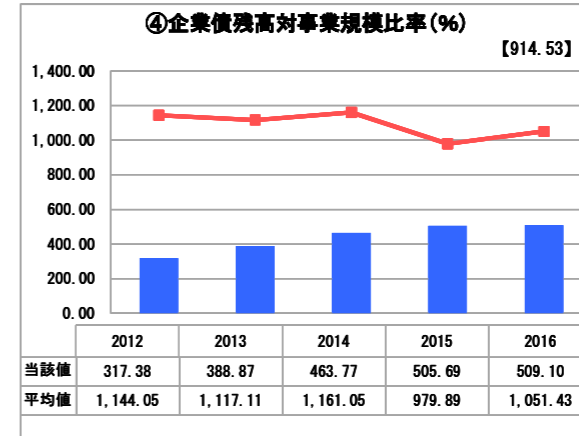
「単年度の収支」



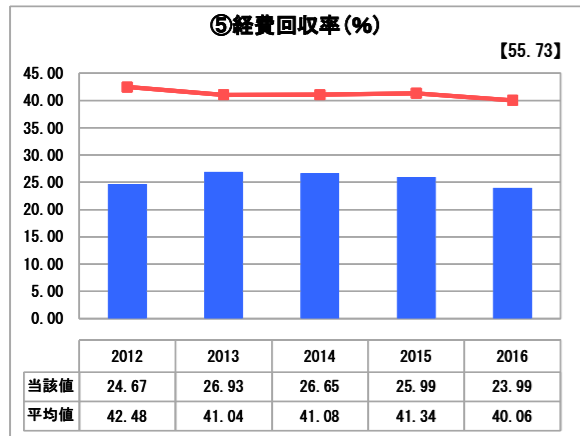
「累積欠損」



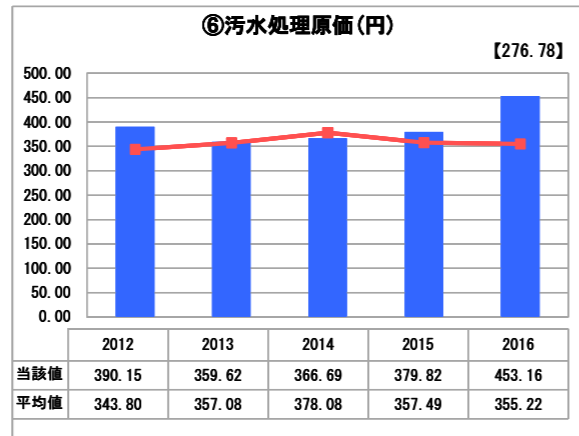
「支払能力」



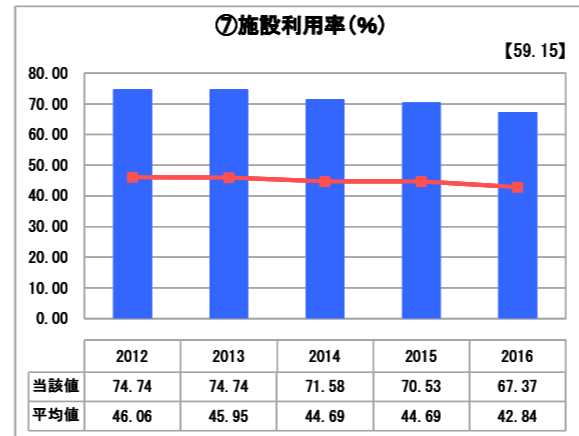
「債務残高」



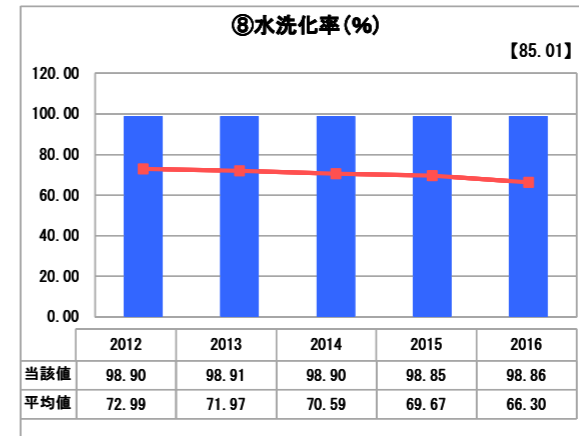
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

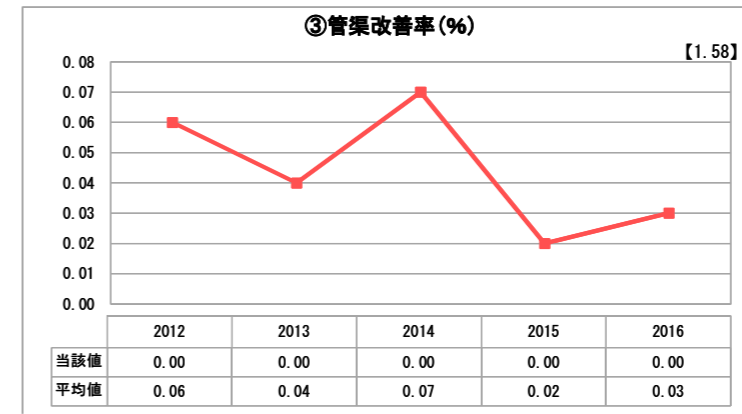
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①については、事業が完了しており有収水量に大きな変化がないため、比率60%前後で推移している。
 ④については、供用開始後の地方債借入がなく、償還のみであるため、地方債残高は年々減少している。
 ⑤については、事業の完了により有収水量の増加を見込めないため、回収率25%前後で推移しており、類似団体に比べ低い水準である。使用料の見直しを図っていく必要がある。
 ⑥については、平成28年度は前年度に比べ修繕費が増加したため、汚水処理原価を上昇させる要因となった。
 ⑦については、平成26年度以降、晴天時一日平均処理水量が減少傾向にあり、それに伴って利用率も減少傾向にある。
 ⑧については、本事業前の地元説明会や地元管理組合の設置により、事業周知が行き届いており、水洗化率はほぼ100%となっている。

2. 老朽化の状況について

事業完了後14年経過のため、管渠更新は実施していない。
 今後は長期的な視点に立ち、計画的な維持管理を実施する。

全体総括

経費回収率が低いため、公共下水道事業や特定環境保全公共下水道事業と同様に、使用料の料金体系を定期的に見直し、改善を図っていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。